

5/18 (金) 2018

18:00-19:30

名古屋大学減災館 1 階減災ホール

※予約不要・入場無料



東日本大震災時における 災害対応経験と その後の取り組み

東北大学病院
総合地域医療教育支援部 教授

石井 正

東日本大震災時、宮城県石巻医療圏（石巻市、東松島市、女川町）は死者 + 行方不明者数レベルでは 6095 名と最大の被災地となった。本講演では、同医療圏での災害医療救護活動経験を述べるとともに、阪神淡路大震災以降の日本の災害救護の歴史や、東日本大震災後に見えてきた課題に対する取り組みについても紹介する。



主催：名古屋大学 減災連携研究センター

★お問い合わせ：TEL. (052) 789-3468

※講演の撮影・録音はご遠慮ください。

※駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用ください。